



石切場の見学



新正門の加工



新正門の設置作業



原石の搬出作業



原石の運搬作業



笠石の復元

山形東高 同窓会 会報

第77号

令和7年4月20日

〔発行所〕 〒990-8525 山形市緑町1-5-87
山形東高同窓会事務局
TEL・FAX (023) 631-7501

〔URL〕 <https://www.yamatoudousoukai.com>

〔E-mail〕 info@yamatoudousoukai.com

〔発行人〕 今野 義之

〔印刷所〕 坂部印刷(株) TEL (023) 631-2056

創立140周年記念事業の歩み ～ほまれの歴史を語り継ぐ不朽の姿を次世代に～

山形県唯一の中学校として明治17年創設された母校は、令和6年10月29日に創立140周年を迎え、「ほまれの歴史を語り継ぐ不朽の姿を次世代に」をコンセプトに掲げ、「正門復元建設と周辺の環境整備」と「結城豊太郎蔵相ご揮毫の国旗掲揚台の復元建設」を記念事業として行いました。

正門は明治26年(1893年)に現在地に校舎が新築されたときに建設され、2度の大火にも耐えた山形中学草創期をしのぶ唯一の遺構であり、母校のシンボリック的存在として愛されてきました。しかし建設から130年が経過し、近年は長年にわたる風雪等の影響により欠損や剥離が進行しており、この度の記念事業で同じ形状の門柱を新たに建設する完全復元工事を行いました。

本事業は約3年の歳月をかけて行われ、2022年9月の正門復元に使用する高畠石の石切場視察に始まり、同年11月に原石の選定と搬出、翌2023年4月から石の加工が開始され、大自然が生み出した石の特徴や風合いを最大限活かし、熟練の技で必要な体積を削り出し、細かいディティールの復元を行い、母校の顔に相応しい美しくも風格あるカタチへと加工されていきました。

その後、2024年5月に旧正門の撤去搬出作業、同年7月に新正門の設置工事、同年9月5日には新正門の除幕式が盛大に執り行われました。

これまで、生徒を見守り続け、風雪や大きな地震を耐え抜いてきた正門。その正門が、さらにこの先100年、200年とほまれの歴史を語り継ぎ、不朽の姿を次世代に伝える「絆の連鎖」のシンボルとして復元されました。また旧正門と結城豊太郎蔵相がご揮毫された国旗掲揚台は、歴史的価値を伝えるモニュメントとして補修復元工事を行い、ロータリー西側へ設置しました。

さらに正門のロータリーにつきましては、全面アスファルト舗装を施し、雨水の滞留を防ぐ排水設備を設置、照明灯をLED器具にて再設置、植栽整備、旧蹟「千歳園」の植栽緑石や植栽柵の整備など、集中豪雨を受けても快適な環境が維持できるよう工事を行いました。

最後になりますが、コロナ禍による自粛生活と経済停滞の長期化という未曾有の状況化の中、同窓会会員の皆様、現職員・旧職員の皆様、PTAの皆様、記念事業にご賛同たまわりました法人・団体・個人の皆様より、多大なご寄附をお寄せいただきましたこと、改めて心より感謝申し上げます。

坂部経洋(東暁会)



旧正門の撤去作業



除幕式後の記念撮影



旧正門のモニュメント



高橋会長から **役員改選** 鈴木会長へ



記念事業の成功を糧にさらなる飛躍へ

第11代会長

高橋 一夫

(山東21回・四六会)

退任のご挨拶

全身麻酔から目覚めた瞬間のように、何も知らないうちに6年が過ぎていました。

今心に残っているのは、同窓会役員の方々と和気あいあいと会議をやったこと、地域・職域の同窓会に伺う時に事務局が抜かりなくお祝いと交通費を準備してくれたこと、校長はじめ学校教職員全員そしてPTAが同窓会をサポートしてくれたこと、140周年記念事業で、どうなることかと心配で夜も眠れなかったけど、同窓会会員が快く寄付してくれたこと、会と名のつく行事での会長の出番の多さ、まるでワンマンショーのよう、などなど。おやっ、書き始めたらきりが無くなって来ました。おかしい。何もなかったようなのに、結構、いろんなことがあったのですね。

さらに思い出そうとすると、体調を崩したけど、新型コロナのおかげで地域・職域同窓会の開催が無くなり、助かったことがありましたね。なんか微妙な話になってきそうなので、こころにしておきましょう。

4月から鈴木俊伸さんが同窓会会長として登場します。鈴木俊伸さん、よろしく願いいたします。

結びですが、山形県立山形東高等学校および同窓会のますますのご発展を祈念し、会長を卒業させていただきます。ありがとうございました。

第12代会長

鈴木 俊伸

(山東19回・鵬雲会)

新任のご挨拶

会員の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また日頃から同窓会活動に対するご支援とご協力を賜り心から御礼を申し上げます。

皆様のご選任を得て2025年の4月に山東同窓会会長に就任いたしました鈴木俊伸と申します。

もとより浅学菲才の私ではありますが「本会は母校の隆盛を念として会員相互の親睦を図ることを目的とする」という同窓会会則第3条の定めにより会の運営を行ってまいります。

私は同窓会役員の実験がなく、長男が山形東高在学中に野球部の保護者会長をした経験があるだけですが、同窓会のチームワークをとりながら母校を応援することに努力したいと思います。

本校卒業生(校友含む)は物故者を含め現在約30,000名で、皆様には同窓会報をお送りいたしておりますが、昭和13年の発会以来87年の歴史を誇る本会としては組織力の強化に努めることが喫緊の課題であり、山東同窓会の潜在的な人的パワーをさらに顕在化するためにも同窓会活動の趣旨に賛同し参加していただく会員数を増加することが大事だという事になります。こうしたことを踏まえて県立山形東高等学校という学び舎で3年間青春時代を過ごしたという事実が、時代を超えて本会会員同士の強い絆となりますよう、そして親睦を深めて母校を支援することを会員相互の共通認識としながら、会員皆さんが「楽しく」山東同窓会活動を行えますよう努力をしてみたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

令和6年度事業報告

同窓生の絆のシンボル
140周年記念事業 新正門ついに完成

令和5年

- 4月6日 事務局会議
事務局構成・業務分担
- 4月8日 令和6年度入学式(学校)
- 4月20日 同窓会報第76号発行
- 5月2日 会計監査
- 5月8日 旧正門撤去作業見学会
- 5月10日 第1回役員会
令和5年度事業報告・決算
監査報告
令和6年度事業計画・予算

- 5月20日 役員三役会(1)
- 5月31日 山形市役所東高会総会
- 6月3日 役員三役会(2)
- 6月18日 山形県庁東高会総会(1)
- 7月4日 全国大会出場選手激励会
- 7月18日 米沢支部総会
- 7月19日 文化部OB会総会
- 8月28日 第2回役員会
総会・表彰式・まつり
140周年記念事業経過・会計
- 8月30日~9月1日 山東祭(学校)
- 8月31日 「30歳になったら東高に帰ろう」
ホームカミングデー 栄継会
- 9月5日 新正門除幕式
- 9月6日 第1回評議員会・第4回常任委員会
第2回役員会と同じ内容

- 9月7日 山中山東東京同窓会懇親会
- 9月12日 新正門記念写真撮影
- 10月19日 同窓会総会・表彰式・まつり
- 10月26日 関西山中山東同窓会総会
- 10月29日 創立140周年記念式典(学校)
- 11月2日 尾花沢支部総会
- 11月9日 河北山東会総会



駅伝大会激励 森谷体育部OB会長



ご挨拶

校長 渡邊 晃

昨年4月の着任以来1年が経過いたしました。優秀な生徒の皆さんと指導力抜群の先生方のおかげで、充実した毎日を過ごしております。今後も「有為なる人材」の育成と母校の発展のために誠心誠意務めてまいります。

さて、昨年度は創立140周年という記念すべき年でした。同窓生の皆様はじめ関係の皆様のご寄付等による記念事業で、正門周辺がきれいに整備され、正門門柱が一新されました。教職員・生徒一同気持ちも新たに教育活動に取り組んでいるところです。140年という長い伝統を、未来に向け継承していくよう努力してまいります。同窓生の皆様には引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

本会には多数の地域・職域同窓会が設立され、毎年盛大な交流会が各地で開催されているとお聞きしております。昨年度、小職も懇親会にお招きいただく機会があり、夜間部同窓会東京支部総会と日程が重なった尾花沢支部の皆様とはお会いできませんでしたが、のべ16の会に参加いたしました。いずれも先輩方の母校に対する熱い思いが伝わる大変素晴らしい会で、とても有意義な時間となりました。一方で、幹事の方からは、若い会員の参加が少ないという実状もお伺いしました。今年度はぜひ、若手の皆さんともお会いし、在学当時の懐かしいお話をお伺いしたいものです。「同窓会総会・まつり」や「地域・職域同窓会総会・懇親会」でお会いしましょう。

令和6年度 予算執行状況

(令和6年4月1日～令和7年1月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額			収入済額	摘要
	当初	補正	計		
維持会費	6,500,000	△314,772	6,185,228	6,155,228	ゆうちょ銀行812件(含持込)コンビニ・スマホ1,189件
入会金	1,155,000	0	1,155,000	1,155,000	5,000円×231人
積立金より	400,000	1,000,000	1,400,000	1,400,000	140周年事業運営のため
繰越金	357,277	0	357,277	357,277	
雑収入	100	70,002	70,102	70,102	利子、ご芳志、寄附金
合計	8,412,377	755,230	9,167,607	9,137,607	

令和7年度 予算(案)

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	本年度	前年度	差額(A-B)	摘要
	予算額(A)	予算額(B)		
維持会費	6,300,000	6,500,000	△200,000	
入会金	1,175,000	1,155,000	20,000	5,000円×235人
積立金より	0	400,000	△400,000	
繰越金	390,000	357,277	32,723	
雑収入	100	100	0	利子
合計	7,865,100	8,412,377	△547,277	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額			支出済額	摘要
	当初	補正	計		
総会費	250,000	31,301	281,301	281,301	資料印刷、案内送付費、まつり補填費
会議費	1,000,000	0	1,000,000	868,730	役員会、評議員会、140周年事業会議
表彰費	300,000	260,813	560,813	560,813	表彰状、記念品(7,000円×49)、140周年感謝状
会報発行費	3,100,000	19,517	3,119,517	2,099,017	16,600部会報印刷、送付費
通信費	140,000	230,000	370,000	93,948	NTT、切手、葉書、140周年郵送料補填費
慶弔費	140,000	△20,000	120,000	47,111	慶弔電報、香典、餞別
諸手当	30,000	0	30,000	30,000	140周年報告書送付作業費
生徒活動支援費	200,000	△105,000	95,000	95,000	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	0	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
活動推進費	450,000	19,421	469,421	469,421	支部総会お祝、若手学年支援、旅費
資料整備費	30,000	31,000	61,000	21,500	140周年事業の記録写真
事務費	1,100,000	40,000	1,140,000	959,208	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	0	1,100,000	1,100,000	山東高教育後援会へ
積立金	0	0	0	0	
振込料金	400,000	△10,800	389,200	385,299	ゆうちょ、コンビニ、スマホ、振替通知書
予備費	142,377	258,978	401,355	0	
合計	8,412,377	755,230	9,167,607	7,011,348	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

支出の部

(単位：円)

科目	本年度	前年度	差額(A-B)	摘要
	予算額(A)	予算額(B)		
総会費	200,000	250,000	△50,000	資料印刷、案内送付費、まつり補填費
会議費	700,000	1,000,000	△300,000	役員会、評議員会
表彰費	270,000	300,000	△30,000	表彰状、記念品
会報発行費	3,400,000	3,100,000	300,000	16,600部会報印刷、送付費
通信費	140,000	140,000	0	NTT、切手、葉書
慶弔費	120,000	140,000	△20,000	慶弔電報、香典、餞別
諸手当	0	30,000	△30,000	
生徒活動支援費	200,000	200,000	0	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
活動推進費	400,000	450,000	△50,000	支部総会お祝、若手学年支援、旅費
資料整備費	0	30,000	△30,000	
事務費	1,000,000	1,100,000	△100,000	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,000,000	1,100,000	△100,000	山東高教育後援会へ
積立金	0	0	0	
振込料金	390,000	400,000	△10,000	ゆうちょ、コンビニ、スマホ、振替通知書
予備費	15,100	142,377	△127,277	
合計	7,865,100	8,412,377	△547,277	

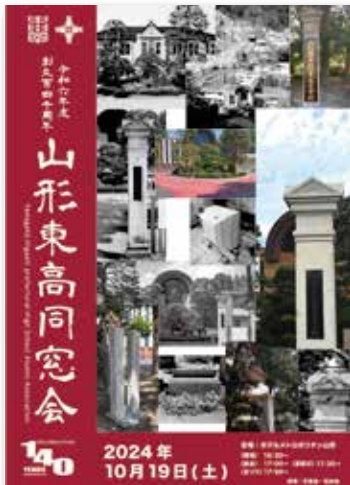
※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

—郵便料金値上げの影響大 維持会費納入にご協力を—

令和5年よりスマホアプリ決済が加わり、納入がより便利になりました。詳しくは「維持会費納入状況報告」に。

- 振込料金の安いゆうちょATMでの振込にご協力を。郵便局の窓口(203円)・ATM(152円)・コンビニ(198円)・スマホ(198円)
- 複数名での振込みは、「郵便局」振込用紙に氏名・卒業年・金額を列記し、一括してお振込み下さい。
- 銀行のネット取引サービス(無料)や、ゆうちょ銀行の電信振替のご利用もどうぞご検討下さい。氏名、卒業年をお忘れなく。

令和6年度 同窓会総会・表彰式・まつり



10月19日(土)、ホテルメトロポリタン山形において、来賓、喜寿者(山東17回・六七会)はじめ計301名が出席して令和6年度同窓会総会・表彰式・まつりが開催されました。コロナ前と同様ではないものの、学年参加枠を4名に拡大。特に、本年は創立140周年記念の年でもあり、華やかな雰囲気の中での開催となりました。

まず総会では、役員改選、5年度事業報告及び決算・監査、6年度事業案及び予算案、創立140周年記念事業報告等がなされ、全て承認。役員改選については、会長として高橋一夫現会長に代わり山東19回・鵬雲会の鈴木俊伸氏を7年度から2か年の任期で選任することを決定。副会長はじめその他の役員についても決議いただきました。高橋一夫会長には3期6年にわたり会長を務めていただき、140周年記念事業を滞りなく収めることができるよう導いていただきましたことに心から感謝と御礼を申し上げます。

引き続き表彰式に移り、文化部OB会長としてご尽力をいただいた山東17回・六七会の吉田真一郎氏に同窓会功労者表彰を、10年にわたる永年勤続の4名の職員の皆様に感謝状を贈呈し、また、喜寿祝賀者を代表して浜田敏氏に賀詞と記念品を贈呈。

「まつり」に入り、内藤(古澤)いづみ実行委員長より開会の挨拶。同窓会長であった御祖父・古澤久次郎氏の思いを胸に、初の女性実行委員長として山形東高の新たな伝統・歴史を刻む挨拶となりました。

続いて、恒例の現役応援団による校歌斉唱とエール、チアリーダーのパフォーマンスが行われ、その後、140周年記念事業を3年にわたり記録したビデオ「正門の復元建設及び周辺環境整備事業」が映写されました。このビデオは同窓会HP「140周年記念事業」にアップされていますので是非ご覧ください(8頁参照)これは復元事業の設計・監理に携わった山東35回・百東会で同窓会副幹事長を務める永井毅君の尽力の賜物でもあります。祝宴は須貝前学校長の発声による乾杯で開幕。大変にぎやかな会となりました。

最後に、次期幹事の彗星会及び重友会の紹介及び挨拶があり、来年に向けた決意を表明。その後、百東会の細谷尚寿君のリードで「おお勝利」を全体で高らかに歌い、酒田山東会長の佐藤いづみ氏の万歳三唱でお開きとなりました。

本年は百東会、山東57回・和成会が幹事学年。我々百東会は100周年時の卒業生であり、学校長の渡邊晃君も同期。東京からも多くの参加を得ての幹事となりましたが、まさに40年の歴史の積み重ねをしみじみと感じつつ、140年という節目を幹事として祝うめぐり合わせに不思議な縁を感じながらの会となったところです。和成会のフリーアナウンサー矢作有美花君の滑らかな進行、そして副実行委員長・小林広軌君の力強い挨拶はじめ和成会諸氏の協力も母校、山形東高のこれからの明るい未来を感じさせるものであったと思います。

(百東会 梅津庸成 記)



令和6年度 同窓会功労者表彰

《文化部OB会長功労》 よし だ しんいちろう 吉 田 眞一郎 様(山東17回・六七会)

【表彰理由】

平成23年から12年間に亘り文化部OB会長として、広い知見と行動力を発揮され多彩な講演を企画され、交流と学びの輪を広げる活動を牽引されました。松田杯等審議委員会、奨学会においても役員を歴任され、文武両道の人材育成に力を注がれ、ご尽力下さいました。

長年にわたる同窓会活動と母校の教育活動に対するご貢献に対し、深甚なる敬意と感謝を込めて賞が贈られました。



令和7年度

同窓会総会・表彰式・まつり

令和7年10月18日(土)

ホテルメトロポリタン山形

- ◆ 日 程：総 会／午後5時～
表彰式／午後5時30分～
まつり／午後5時50分～
- ◆ チケット：7,000円、学年から4名程度
- ◆ 喜寿招待：山東18回(東哉会)のみなさま
ぜひご出席下さい
- ◆ 当番幹事：彗琥会(山東36回)・重友会(山東58回)

【開催にあたって】 まつりの「にぎわい」を取り戻しつつ、ゆったりと親睦を深めていただくために料理は個別配膳とし400席を用意しております。受付のスピード化も図り、チケット販売(前納)とします。お求めは、各学年の評議員(15頁)まで。



“いつでもどこでも 羽前の三山” 山東17回・六七会

我が青春の季節、振り返れば、角ごと辻ごとに忘れ難い思い出の人が立っている。そして忘れ難い事にも出会った。特に、山形東高時代は、多感な年齢であったし、応援団長をしたことなどもあって、記憶に残っていることが多い。それは、昭和39年から42年にかけてであり、団塊の世代が高校生活を送っていた時である。昭和39年は東京オリンピックが行われた年であり、戦後の懐かしの原風景を経て、日本が経済成長に突き進んでいた時代でもあった。

生徒会総会

議題は下駄履き登校禁止。T生徒の発言「私の家は貧困家庭であり、親父のお古のちびた下駄をひっかけて登校するしかないのです。」当時はまだ説得力のある内容でT生徒得意満面。河田利夫先生曰く「何も革靴を履いて来いと言ってね。ズックでいいんだ。」生徒たちはそれでシュン、下駄履き禁止確認。それでも生徒たちは下駄が好き、学校前で下駄を脱ぎ、脇の下に挟んで裸足で登校。先刻お見通しの先生「四釜、腕を上げてみる。」

応援団校内見廻り組

校内放送「本日の12時半から伝統の東南定期戦の応援練習をするから体育館に集合」。クラスに残っている生徒に対して、「いつまで弁当食ってるんだ。早く行げ、くらすけぞ。」女子更衣室に残っている女子生徒に対して戸をガラッと開けて、「甘ったれるな、このヘナ、チャッチャど出る。」いやはや、品の良いことでした。今ならアウト。

日本史の授業

誉田慶恩先生(あだ名はペリカン)。ペリカン「……聖徳太子の十七条の憲法は人民のための法であるか? いや、決してそうではない、それは役人の心得を示したものであり、これなんかも一つの……」ペリカン「浜田、十七条の憲法的一条には何が書いてあるか。」浜田「……………」ペリカン「ええ? ええ?」浜田「……………」ペリカン、堪らず、「それは日本社会の今も続く特質である和をもって貴しとなすということであり……」誉田先生の講義は、志ん生の落語のような名調子でした。



親睦を深めあってきた仲間たち

山形東高を卒業して58年、友も我も皆喜寿である。忘れ得ぬ先生は他界されているが、その姿は今も心に刻まれている。その時代の友との絆は深く、変わりなく続いている。同窓は見えない心の糸で結ばれているのであろうか。いつでもどこでも羽前の三山……………

人生100年時代、これからもいろんなことがあるだろうが「Never too late」(遅過ぎることはない)という気持ちで取り組んで行きたいと思っている。(浜田 敏 記)

母

校

文武両道

近

況

おもな大学の合格状況

東関会 (令和7年3月卒業)

大学入学共通テスト実施5年目。今年度から新たに教科「情報」が追加されたほか、科目の出題内容や試験時間が変更されるなど、入試制度が大きく変化する年度となった。本校における自己採点の結果(1000点満点平均値)は、文理総合745点(文系740点、理系749点)であり、昨年度平均点(900点満点)の得点率から約2%アップし、これは全国動向(業者推計)と同様であった。全国的にも第一志望を貫く「強気出願傾向」であった模様で、本校もその通りであった。

さて、本校の現役生の合格概況を表に示す。東京大学は現役4名。そのうちの1名は学校推薦型選抜による農学部合格の生徒であるが、本校としては5年連続で推薦合格者が出ていることになる。一方、過年度卒の東京大学合格者は1名(文科三類)となり、現役生と合わせて5名となった。

東北大学については、今年度は前年度以上にAOⅡの総合型選抜から一般入試までチャレンジし続けた現役生が多かった。現役生47名(AOⅡ:10名、AOⅢ:16名、前期:

18名、後期:3名)、過年度卒6名(AOⅢ:2名、前期:4名)が合格をつかんでいる。特に現役生のAOⅡおよびAOⅢの合格者数がそれぞれ過去最高である。本校としての探究学習を基盤とした成果といってもよいだろう。たとえAOⅡやAOⅢで不合格だったとしても、一般入試までに「リベンジ合格」を果たした生徒も一定数おり、最後まで第一志望をあきらめず努力を続けてこそその結果と考える。

その他の難関国立大学では、今年度から東京工業大学と東京医科歯科大学が統合した東京科学大学に現役生と過年度卒、京都大学に現役生、一橋大学に過年度卒がそれぞれ1名ずつ合格している。地元山形大学の現役生合格者は30名となっている。

医学部医学科の現役生の延べ合格者については、東北大学1名(AOⅡ)、山形大学6名(推薦:3名、前期:3名)、弘前大学2名、自治医科大学3名(うち2名は山形大学推薦合格のため入学辞退)、岩手医科・東北医科薬科・北里の各大学で1名ずつ、計15名(実合格者13名)となっている。過年度卒については、山形大学4名、秋田・金沢・福島県立医科の各大学で1名ずつ、東北医科薬科大学等の私立大学を合わせて、延べ計17名を数える。

探究科完成年度を境に普通科も含めて明らかに勢いを増した本校である。引き続き、1人でも多くの生徒の志望を叶える指導を「探究」し続けたい。

令和7年3月卒業生(東関会) 大学合格者数(延人数)

単位:人 ※現役合格のみ(令和7年3月24日時点)

【国立大学】

大 学	人 数	
北 海 道	2	
弘 前	3	
岩 手	1	
東 北	文 法	9
	法 経	2
	理 学	6
	医 学	4
	保 健	1
	薬 学	4
	工 学	3
	農 学	10
	全 体	4
	山 形	47
山 形	医 全	6
	全 体	30

大 学	人 数	
福 島	3	
次 城	1	
宇 都 宮	2	
群 馬	1	
埼 玉	6	
千 葉	4	
お茶の水女子	1	
東 京	文 理	2
	計	2
東京外国語	1	
東京学芸	2	
東京科学	1	
横浜国立	1	
新潟潟	18	
富 山	1	

大 学	人 数
金 沢	2
山 梨	2
信 州	1
京 都	1
九 州	1

【公立大学】

大 学	人 数
国際教養	1
高崎経済	2
横浜市立	1
新潟県立	2

【私立大学】

大 学	人 数
東北芸術工科	4
東北学院	21
東北福祉	2
東北医科薬科	3
自治医科	3
青山学院	6
慶應義塾	5
上 智	1
中 央	12
東京理科	9
法 政	6
明 治	9
立 教	4
早 稲 田	6
そ の 他	64

【計】

大 学	人 数
国立大学	136
公立大学	6
国公立大学	142
私立大学	155
大 学 計	297
(国公立医学科)	9
(私立医学科)	6
(医学科計)	15



全大学の合格者数は山形東高のホームページ (<https://www.yamagatahigashi-h.ed.jp>) の「進路指導」に掲載しておりますのでご覧ください。

体 育 ・ 文 化 活 動 総 況

今年度も、部活動では活発な取り組みが行われ、各種大会やコンクールにおいて素晴らしい成果を収めることができました。特に、記録的な猛暑の中、熱中症に十分警戒しつつ、活動時間の工夫や練習内容の精選に努めてまいりました。そうした厳しい環境下でも、多くの部が目標としてきた東北大会や全国大会、全国規模のコンクール、およびその予選を兼ねた県大会で実力を発揮し、好成績を収めています。

全国大会レベルでの活躍としては、体育部ではフェンシング部の男子個人、女子個人および男子団体が昨年度に続きインターハイ出場を果たし、さらに男子団体は3月に行われた全国選抜大会へも出場しました。また、剣道部では男子個人戦において、2年連続でインターハイ出場選手が輩出されました。文化部においても、文芸部、放送部、囲碁将棋部、探究部理数班(科学部門)が全国大会で堂々と日頃の取り組み

の成果を発揮しました。さらに、探究部理数班(数学部門)は、久しぶりに日本数学オリンピック本選(全国大会)への出場を果たしました。また、全国大会には届かなかったものの、県大会で上位入賞を果たし、個人・団体で東北大会に出場した部も多数あり、それぞれが計画的に強化に取り組んだ成果が表れています。

今後も感染症予防や熱中症対策に十分配慮しながら、活動内容をさらに充実させ、より高い目標に向かって挑戦してまいります。これまで先輩方が築き上げてきた山東の部活動の歴史と伝統を受け継ぎ、さらなる発展を遂げられるよう、引き続き努力を重ねていきたいと考えております。今後とも、同窓会の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度 松田杯等四賞

同窓会特別賞

《松田杯》フェンシング部
東北高校フェンシング選手権
男子学校対抗 出場
北部九州インターハイ 男子学校対抗 出場
《鈴木杯》須藤慶秋(剣道部)
第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
出場(先鋒の部・2年連続)
東北高校剣道選手権 男子個人 出場
北部九州インターハイ 男子個人 出場(2年連続)
《矢野牌》文芸部
第25回「俳句甲子園(全国高等学校俳句選手権大会)」
全国大会 団体第3位

第47回全国高等学校総合文化祭(かごしま文)
俳句部門・短歌部門 出場
第25回全国高等学校文化連盟北海道・東北文芸大会秋田大会(団体)
文芸部誌部門 出場
第37回全国高等学校文芸コンクール
文芸部誌部門 奨励賞
《駒草杯》渡辺悠月(文芸部)
第31回都留市ふれあい全国俳句大会
高校生・大学生部門 正木ゆう子准賞
第27回「俳句甲子園(全国高等学校俳句選手権大会)」
団体全国大会出場 個人優秀賞
第38回全国高等学校文芸コンクール 短歌部門 入選

《中村賞》 松田 純弥
《木村賞》 須藤 慶秋
《探究賞》 眞木 俊貴
《山形東高等学校同窓会賞》 鬼海 仁
《山形中学校・東高等学校東京同窓会賞》 楠本承太郎
《山形東高仙台同窓会賞》 佐藤 碧

令和6年度の各部の主な成績をご報告申し上げます。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い致します。
※紙面の都合上、松田杯等四賞以外の部活動について、東北大会以上の成績を掲載しています。

体育 部

【剣 道】
◎東北高校総体 女子団体《出場》
女子個人《出場》 佐竹 萌寧
【陸上競技】
◎東北高校新人 男子400m《出場》 吉富 一真
男子走高跳 第14位 高橋 湧
【卓 球】
◎東北高校総体 男子シングルス《出場》 小山聡一郎
【水 泳】
◎東北高校総体 女子50m自由形《出場》 沖 遥香
女子100m・200m平泳ぎ《出場》 中村 優寿
男子400m自由形《出場》 鈴木 海
女子100m・200mバタフライ《出場》 相馬 茉実
女子4×100mメドレーリレー《出場》
女子4×100mフリーリレー《出場》
男子4×100mフリーリレー《出場》

◎東北高校新人 女子50m自由形《出場》 沖通 香
女子100m・200m平泳ぎ《出場》 中村 優寿
男子400m自由形《出場》 鈴木 海
女子100m・200mバタフライ《出場》 相馬 茉実
女子4×100mメドレーリレー《出場》
女子4×100mフリーリレー《出場》
【フェンシング】
◎全国高校総体 男子個人サーブル《出場》 加藤 義晶・長谷川幸太
女子個人サーブル《出場》 土屋 綾乃
男子団体フルール《出場》
◎全国選抜大会
【女子ハンドボール】
◎東北選抜大会 《出場》
【テニス】
◎東北高校総体 男子団体・女子団体《出場》
◎東北高校新人 男子団体・女子団体《出場》

文化 部

【文 芸】
◎都留市ふれあい全国俳句大会 高校生・大学生部門 大賞(高山奨賞) 三浦温人
◎星の俳句コンテスト 最優秀賞(審査員グランプリ) 三浦温人
◎東北大学紅葉の賀高校生俳句賞 最優秀賞 三浦温人
【吹奏楽】
◎全日本吹奏楽コンクール東北大会 銅賞
【美術】
◎学展アート&デザインアワード(国立新美術館)高校部 絵画 優秀賞 二井芳文
【囲碁将棋】
◎全国高総文祭 将棋部門 男子団体 出場 坂井祐人・三浦温人・富田明寿
女子団体 出場 前田知南・長坂真歩・緒形あかね
◎全国高等学校新人将棋大会(長崎市) 男子個人 出場 高橋律慈
◎東北高等学校新人将棋大会 男子個人 出場 高橋律慈・無着大希
女子個人 出場 前田知南・長坂真歩・緒形あかね
【放 送】
◎NHK杯全国高校放送コンテスト 出場
【朗読部門】尾形薫
【ラジオドキュメント部門】「+15」
【創作ラジオドラマ部門】「あの日君が見たものは」
【テレビドキュメント部門】「その言葉、やんばいだー?」
【創作テレビドラマ部門】「ボキャブラリー辞典」準決勝進出(上位20作品)
◎東北高等学校放送コンテスト 出場
【アナウンス部門】柏倉理李

【朗読部門】尾形薫・成田美月
【RC部門】Ice cream
【RC部門】わかりAIたい《入選》
【TC部門】2人の"AI"~相手への「愛」とは~
◎全国高総文祭 出場 【アナウンス部門】庄司希愛
【探究(地域国際班・その他)】
◎全国高校教育模擬国連大会 実行委員特別賞 佐藤恭佳・奥山航成
◎PDA高校生即興型英語全国ディベート大会 出場 21位/83校
【ベストディベーター賞】 武田篤郎 【ベストPOI賞】 武田篤郎
【探究(数学)】
◎日本数学オリンピックJMO本戦 Bランク 茅野智裕
【探究(科学)】
◎全国高総文祭 自然科学部門 研究発表の部(化学部門・口頭発表)
出場 川瀬凌大・縮通 斗
【その他】
◎全国高校生金融経済クイズ選手権エコノミクス甲子園 出場 佐藤琴音・高橋綾乃
◎日本情報オリンピック 本選進出 茅野智裕
◎Japan Business Design & Action Award2025 JAPAN SDGs賞 武田こはる・奥井悠月
◎高校選抜探究リーグ 審査員特別賞 澁谷有倫・庄司歩果・武田篤郎・中村優寿
◎Change Maker Awards 全国大会
金賞 八鍬開心・遠藤功二郎・加藤 慶・齋藤莉里
◎ジュニア農芸科学学会 金賞 吉田好佑

※紙面の都合上、東北大会以上の成績を掲載しています。部活動成績の詳細は、山形東高校のホームページ(https://www.yamagatahigashi-h.ed.jp)の「山東通信」に掲載しておりますのでご覧ください。

令和6年度事業報告

11月13日 仙台同窓会総会
11月16日 山東東海同窓会総会
11月19日 東根支部総会
11月22日 酒田山東会総会
11月25日 140周年記念事業会計監査
12月4日 臨時役員会
解散総会の持ち方
12月12日 栃木県支部総会
12月13日 140周年記念事業実行委員会
解散総会

事業報告、決算、監査報告
12月14日 山辺支部総会
12月23日 松田杯等四賞授与(学校)
令和7年
1月18日 大石田支部総会
2月2日 体育部OB会総会
2月6日 第3回役員会
令和6年度年度補正予算
令和7年度事業計画・予算
令和6年度まつり総括・決算
令和7年度まつり計画

2月14日 山東教育後援会へ寄附金贈呈
第2回評議員会
第3回役員会と同じ内容
2月19日 山形県庁東高会総会(2)
2月20日 山形市歯科医師会山東会総会
2月25日 まつり引継会
2月28日 同窓会入会式
令和7年卒山東75回
東閃会(とうせんかい)
評議員 吉田皖南
3月3日 令和6年度卒業式(学校)
同窓会特別賞授与

創立140周年記念式典 ～ここに輝く伝統 ここに輝く未来～

令和6年10月29日(火) やまぎん県民ホール

高橋広樹山形県教育委員会教育長をはじめ、山形県議会議員、歴代校長、PTA、村山地区高等学校校長等、60名を超える来賓の御出席を賜りながら、創立140周年記念式典が盛大に挙行されました。国歌、県民歌に引き続いて、創立40周年に制定され100年もの間歌い継がれてきた校歌を参加者一同、声高らかに斉唱しました。教育長、PTA会長から、正門の復元建設や周辺環境の整備等、同窓会による母校の教育環境の整備に謝意が示されるとともに、生徒へは、常に知のアンテナを高く掲げ、見聞きするすべてのことを自分事として捉え学び続け、先行き不透明なこれからの時代を自らの力で主体的に生き抜ける確かな力を身に付けてほしいとの御祝辞を頂戴しました。生徒代表の庄司歩果生徒会長から、目に映らないことをないものとして無意識に排除し、目に映ったものに過度に感化される現代の風潮を変えるため、学ぶことを決して止めず、「国家の運命ををしく負はむ」気概を持った生徒になっていきたいという力強い決意が示されました。その後、創立70周年を記念して作られ、祝典のたびに歌い継がれてきた祝典歌が、音楽部、吹奏楽部の生徒によって披露され式典を閉じました。

式典に引き続き、正門復元建設及び周辺環境整備に係る目録を母校に贈呈するとともに、この度の正門復元建設及び周辺環境整備事業をわかりやすくまとめた映像が映写されました。その後、本事業に尽力いただいた株式会社永井設計様、株式会社石駒様、渋谷建設株式会社様、森谷大佛堂様、坂部印刷株式会社様に対して、140周年記念事業実行委員会会長である同窓会長から感謝状が贈呈されました。参加した生徒及び同窓生にとって、母校のほまれの歴史を語り継ぐとともに、不朽の姿を次世代に繋げるべく、決意を新たにす式典となりました。



山中(左)と山東(右)の校旗を前に祝典歌

記念式典 次第

- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 県民歌斉唱
- 4 校歌斉唱
- 5 校長式辞 校長 渡邊 晃
- 6 実行委員会会長挨拶 同窓会会長 高橋一夫
- 7 祝辞 ・山形県教育委員会教育長 高橋広樹 様
・山形東高等学校PTA会長 古沢和明 様
- 8 来賓紹介
- 9 生徒代表挨拶 生徒会長 庄司歩果
- 10 祝典歌披露 山形東高校音楽部・吹奏楽部
- 11 閉式のことば
- 12 正門整備寄贈
- 13 正門整備の記念映像映写
- 14 感謝状贈呈

記録映像

※記念事業記録映像は
同窓会ホームページか右の
QRコードにアクセスして
ご覧いただけます



正門の寄贈



記念事業の軌跡を映写



感謝状贈呈

記念講演 『宇宙からの視点～我々は何故挑戦し続けるのか～』

宇宙飛行士・全国科学館連携協議会会長

毛利 衛氏

1948年北海道余市町生まれ。1985年、日本人初の宇宙飛行士に選定される。1992年、スペースシャトル「エンデバー号」に日本人科学者として初めて搭乗。日米が開発した実験装置を使用して、宇宙空間の特性を利用した実験を軌道上で実施。2000年には、スペースシャトル「エンデバー号」に搭乗し、地球観測を目的としたミッションを実施した。現在は最先端科学技術を担う人材育成と地域活性化活動に取り組んでいる。

講演では、毛利氏が子供時代に様々な自然現象に興味を持っており、とりわけ皆既日食を目の当たりにした際「今までとは全然違うことが起きている」という衝撃を受けた経験が語られました。日食が終わった後、太陽の光の明るさ・温かさ・ありがたさを実感するとともに、人間の手の届かないものへの畏敬の念を抱き、「太陽を地上に生かすために自然科学者になりたい」と強く思うようになったそうです。また日本で初めて宇宙飛行士が募集された際、核融合の研究のために宇宙と同じ真空状態で実験を行っていたことから、「それなら自分が実際に宇宙に行って実験したい」と考え、応募を決意したことも語られました。

講演では、宇宙で行った実験についても実際の映像やクイズを交えながら紹介されました。「宇宙でりんごの皮をむくとどうなるか」「無重力の環境でもカエルの卵は孵化するのか」といった興味深い話題に、聴講者は結果を予想し、原因を考えながら熱心に聴き入っていました。

科学技術の発展によって、地球上の生命の持続性が自然環境に依存していることが明らかになり、同時に人類発展の限界も見えてきました。そんな状況を踏まえて毛利氏は、地球に住む人々が生き延びるために「未来智」の必要性を提唱されました。それは、人類だけでなく地球上のすべての生命とのつな

がりを意識し、未来に向かって生命を絶えず繋いでいくことを意味します。一人ひとりが自分の能力に最大限挑戦し、人類がこれまで成し遂げられなかったことに挑むことで、新たな可能性が生まれ、持続可能な社会の実現に貢献できるのです。

最後に、「何のために学ぶのか」というテーマについてお話がありました。小学校・中学校での学びは、社会で生きていくために誰もが身につけるべき基礎ですが、高校・大学では「自分の得意なこと」を見つけ、深めることが重要だと述べられました。その「得意なこと」は一人ひとり異なり、それぞれが好きな学びや勉強に打ち込むことで、人類の可能性が広がるというメッセージが生徒に向けて伝えられました。

講演後の質疑応答では、生徒たちから多岐にわたる質問が寄せられ、会場は大いに盛り上がりました。挑戦する中で直面する困難への対処法や、目前に迫った大学受験への不安などについて、毛利氏は自身の宇宙での経験を交えながら、一つひとつ丁寧に回答されました。その中で、挑戦することを楽しむこと「生きている」という実感を持つことの大切さや、共に挑戦する仲間を見つけること、集団や社会にとらわれず未来の視点を持つことについても言及され、聴講者の視野をさらに広げる充実した時間となりました。



「未来智」について語る毛利氏



生徒達との質疑応答

生徒のお礼の言葉

2年 生徒会副会長 奥野 結

本日は大変貴重なお話をありがとうございました。先生の出身地は北海道の余市であると伺っています。私自身北海道出身で、昔、余市にある宇宙記念館で先生の功績を見学して学んだことを思い出しながら本日のお話を聞いていました。

私は今まで、学ぶことは自分自身の成長、あるいは友達と切磋琢磨して高め合うことにつながるというイメージを持っていました。しかし、毛利先生の講演を聞いて学ぶことは新時代を生き、人類が生き延びることにつながるものである、と教えていただき、考えが広がりました。教えていただいたことを大切にして、東高という学び舎で、無限の可能性を持つ「学ぶこと」を深めていきたいです。改めまして本日は本当にありがとうございました。

各同窓会だより

(順不同)

◇東京同窓会

山中・山東 東京同窓会は、1950年(昭和25年)創立。今年でちょうど節目の75周年を迎えます。たくさんの先輩方の努力を引き継ぎながら、母校山東の隆盛と当会会員の交流・親睦を図ることを旨とし日々活動を継続して参りました。本年度の当会の活動としては、5月に当会会報誌82号3千部を発行・配送。巻頭から2頁を飾った共一会(S54卒)御三方の鼎談企画は評判を呼びました。7月に大日本水産会大会議室での当会の総会。8月には東京大学を志す在校生1、2年生計69名の上京を迎える東大キャンパスツアー支援企画の実施。9月にホテル椿山荘での177名の参加者を迎える懇親会の開催(双賛会・東珀会が幹事)。9月のホテルニューオータニにて開催された山形県人会連合会総会・懇親会への参加(18名)。10月には恒例の葛飾区水元公園での芋煮会の開催(43名の参加)や東京東音会の第11回定期公演への集客・祝花の支援。また同月やまがた育英祭・寮祭(音楽祭・芋煮会)への協賛。11月には山東夜間部東京支部の総会・懇親会への参加。12月には、母校探究型学習の類型別研修の東京エリアにおける支援(参加生徒数：198名)と精力的な活動を実施して参りました。

下記の写真は昨年9月7日椿山荘での当会懇親会の集合写真です。詳しくは、当会会報誌83号(本年5月発行)や<http://uzen33.net>「山形東高東京同窓会」をご覧ください。(会長 鈴木 達 記)



◇関西山中山東同窓会



第26回総会及び懇親会を開催し、昨年を上回る同窓生17名とご来賓を合わせて総勢20名の方にご参加いただきました。郷土山形からご来賓としてお招きした桂木同窓会副会長より、10月19日に開催された同窓会まつりの様子や10月29日に開催される創立140周年記念行事に関するお話を伺いました。また同じく遠路はるばるお越しいただいた渡邊校長先生からは、後輩たちの文武に亘る活躍をご紹介いただきました。山形県大阪事務所の鈴木所長によるご挨拶や初参加の方の自己紹介に続き、皆さんの学生時代の話や近況に耳を傾け、山形の地酒やワインを堪能しました。全員で創立140周年をお祝いしながら楽しい時間を共有することが出来ました。最後に応援歌「おお勝利」を全員で合唱し、次回の再会を誓いながら盛会のうちにお開きとなりました。(幹事長 佐藤 吉広 記)

◇東根支部

東根支部の令和6年度総会は、令和6年11月19日さくらんぼ東根温泉の青松館で開催されました。新型コロナの中断明け2回目の開催となり、同窓会から高橋一夫会長、母校から渡邊晃校長先生をお迎えし、上は80歳、下は35歳という幅広い年代の支部会員30名の参加を得て開催されました。総会に引き続いての懇親会では、来賓あいさつとして高橋会長からは、140周年記念行事や新正門の設置などについて、渡邊校長からは、学校の近況などについてご報告いただきました。続いて校歌斉唱の後懇親会に入り、各々の近況や学生時代の話題などで懇親を深めました。最後に応援歌「おお勝利」で同窓の絆を確認し、また「万歳三唱」で同窓会の発展と会員の活躍を祈念いたしました。次回も多くの参加者をお待ちしております。(幹事長 芦野 満敏 記)



◇酒田山東会

令和6年度の酒田山東会総会は、母校より渡邊晃校長先生、同窓会より矢野秀弥副会長にご出席いただきました。今年も鶴岡在住の同窓生にも参加していただき、計11名の参加者となりました。物故会員への黙祷の後、協議が行われ、佐藤いづみ新会長の就任が承認され、記念撮影の後、校歌を斉唱し乾杯となりました。渡邊校長先生から母校の近況をお話いただき、主な進学先や、後輩の活躍に興味深く聞かせていただきました。また矢野同窓会副会長からは創立140周年記念事業を無事に完遂された事を中心にお話いただきました。その後は各自の近況報告が行われ、最後に「おお勝利」を歌って、エールであつという間に終了となりました。途中で、140周年記念式典でも流されたビデオ「正門復元の軌跡」を上映してみたのですが、皆さん懐かしい正門が新たに復元される様子を熱心にご覧になっておられ、なかなか好評でした。また来年お会いしましょう。(幹事長 岡田 恒弘 記)



◇山形市役所東高会



山形市役所東高会は会員総勢156名が一丸となり、市勢発展のため、日々奮闘しております。さて、当会では会員相互の親睦を図るため、毎年、総会と新年会を開催することとしております。昨年5月31日に開催した総会では、渡邊校長先生、矢野同窓会副会長から御臨席を賜り、母校の活躍や同窓会の近況を伺いながら、時間の経つのも忘れ大いに盛り上がりました。また、今年1月31日には新年会も開催し、これらを通じて、会員同志の絆をさらに深めたところでもあります。(庶務幹事 原田 貴正 記)

◇大石田支部

コロナ明けの開催となった昨年度は2月に行いましたが、本来大石田支部は大学入学共通テストの初日に開催するのが通例となっており、本年度は従来に戻しての開催でした。会員13名に加え、ご来賓に高橋一夫同窓会長、渡邊晃校長先生、更に尾花沢支部から鈴木欣一支部長はじめ3名の方々をお迎えし会を盛り上げていただきました。過去の様々なアクシデントを乗り越え待望のご参加となった高橋同窓会長からは、140周年記念事業や式典を中心にお話いただきました。実は筆者の同級生である渡邊校長先生からは、学校の近況として後輩たちの文武にわたる活躍をお聞きしました。懇親会では、近況を語り合いながら酒を酌み交わし、締めは恒例の手打ちそばを味わい最後に「おお勝利」の合唱とエールでお開きとなりました。(事務局長 大類 康裕 記)



◇山辺支部



令和6年度の総会、懇親会を12月14日(土)町内の寿司政にて開催しました。例年12月の第1土曜日の開催としていましたが都合により第2土曜日の開催となったにもかかわらず、高橋同窓会長、渡邊校長の出席を賜り感謝申し上げます。高橋会長には今年度で勇退とのこと長年お疲れ様でした。渡邊校長にはお父様が山辺町出身ということでご縁を感じました。今年度の総会では副会長で長らく山辺町長でありました遠藤直幸氏の旭日中綬章受章のお祝いや初の女性会員の参加といったこともあり大変盛り上がりましたが、高齢化による参加者の減少傾向があり、今後とも新規会員の確保についてが課題となっています。(幹事長 宗田 一彦 記)

◇天童支部

はじめに、母校の創立140周年に際し、心よりのお祝いを申し上げます。さて、本支部は、毎年恒例となった『新入学生を励ます会』を年度当初に開催し、役員相互の情報交換と新入学生との顔合わせを通し、同

窓会としての絆を深めています。この会では、新入生の抱負から始まりですが、懇談を通して現在の山東生の気質を感じたり、役員のご子息との友人関係など思いがけない情報に出会ったりしながら昼食をともにする有意義な会となっております。また、支部とは別に40名を超えるメンバーで組織された「天童市役所山東OB会」があり、年1回の懇親会を開いておりますが、この会からも支部の懇談会にも多くの会員が参加しています。今後とも会員相互の結びつきを深め、以前のように同窓会長、校長をお招きし、母校の発展をお祝い、また願う会を盛大に開催したいと考えています。(支部長 相澤 一彦 記)

◇県庁東高会

山形県庁東高会は、会員数167名で運営され、会員相互の親睦を図るとともに、母校への支援活動を行っております。また、年に2回定期総会を開催しております。新型コロナウイルスの影響により一時開催を見合わせておりましたが、令和5年度から再開し、令和6年度においても6月18日に山形市内のホテルにて第1回総会を執り行いました。総会では、校歌斉唱にはじまり、ご来賓の方々からご祝辞をいただき、また、高橋同窓会長、渡邊校長先生をはじめとした学校関係者の方々にもご出席を賜り、母校の近況をお聞かせいただきました。引き続き懇親に入り、酒肴を囲んで懇談し、旧友をあたためたところです。最後に「おお勝利」を誦し上げ、万歳三唱を行い、散会いたしました。(会計幹事 石山 圭亮 記)



◇山形市歯科医師会山東会



令和7年2月20日(木)山形市歯科医師会山東会総会・新年会が「浜なす」にて18名の参加で開催された。昭和38年卒から平成28年卒まで幅広い年代の参加者が一つのテーブルを囲んだ。初参加された若手会員との話も弾み、校舎や合宿場や武道館などの変遷もあり、いくつかの世代の話が混じり合いながらの歓談になった。一人ずつ各自の思い出話の披露もあり、スポーツ等で華々しい活躍をされた話や、進級危うく職員室で一人だけ特別授業をしばらく受けたという「つわもの」話にも花が咲いた。コロナ禍の影響を受け5年ぶりとなる総会・新年会だったが、西村修会長(山東18回)のもと会員相互の懇親を深めた楽しい会となり、小関陽一山形市歯科医師会会長(山東23回)により中締めとなった。(副幹事長 清水 一衛 記)

令和7年2月20日(木)山形市歯科医師会山東会総会・新年会が「浜なす」にて18名の参加で開催された。昭和38年卒から平成28年卒まで幅広い年代の参加者が一つのテーブルを囲んだ。初参加された若手会員との話も弾み、校舎や合宿場や武道館などの変遷もあり、いくつかの世代の話が混じり合いながらの歓談になった。一人ずつ各自の思い出話の披露もあり、スポーツ等で華々しい活躍をされた話や、進級危うく職員室で一人だけ特別授業をしばらく受けたという「つわもの」話にも花が咲いた。コロナ禍の影響を受け5年ぶりとなる総会・新年会だったが、西村修会長(山東18回)のもと会員相互の懇親を深めた楽しい会となり、小関陽一山形市歯科医師会会長(山東23回)により中締めとなった。(副幹事長 清水 一衛 記)

◇仙台同窓会

2024年11月13日、立冬の候、仙台同窓会総会が開催されました。同窓会より桂木副会長、母校より渡邊校長先生をお迎えし、昨年を10人ほど上回る46名の方が参加され、すっかりコロナ禍以前と変わらない盛り上がりを見せました。総会では、菅野会長(山東19回)を議長に滞りなく議事が進み、役員改選では、新会長として、田苗博氏(山東24回)が就任されました。引き続き開催された懇親会では、お酒を酌み交わしながら高校時代の思い出話に花が咲いていました。最後は校歌の斉唱と母校への熱いエールを送り、盛会のうちに散会となりました。(事務局 安達 陽平 記)



◇栃木県支部



昨年引き続き忘年会を兼ねた年次総会と懇親会を開催しました。栃木県で暮らした体験や山形での若き日の思い出話に花が咲きました。最後に校歌「羽前の三山」、応援歌「おお勝利」を歌い、来年の再会を約束して散会しました。尚、出席者は塩野会長(一高2回)、矢吹副会長(東高6回)、鏡副会長(東高10回)、門間様(東高10回)、佐々木会計監査(東高15回)、武田事務局(東高17回)、棚橋様(東高22回)です。(事務局 武田 康夫 記)

昨年引き続き忘年会を兼ねた年次総会と懇親会を開催しました。栃木県で暮らした体験や山形での若き日の思い出話に花が咲きました。最後に校歌「羽前の三山」、応援歌「おお勝利」を歌い、来年の再会を約束して散会しました。尚、出席者は塩野会長(一高2回)、矢吹副会長(東高6回)、鏡副会長(東高10回)、門間様(東高10回)、佐々木会計監査(東高15回)、武田事務局(東高17回)、棚橋様(東高22回)です。(事務局 武田 康夫 記)

◇米沢支部

米沢支部総会が7月18日夜、米沢市内の式場にて5年ぶりに開催され、高橋一夫同窓会長、渡邊晃校長を来賓としてお迎えし、新規会員も含む参加者30名の盛会となりました。同窓会長よりご祝辞と母校創立140周年記念事業はじめ順調な活動状況の報告を頂き、校長からはご祝辞と最近の母校の活動と後輩達の活躍の様子をご紹介頂きました。支部活動に尽力してこれら急逝された昭和47年卒笹原裕一 副支部長(九里学園元副校長)はじめ、この5年間に逝去された会員の皆様に黙祷を捧げました。懇親会では、昭37年卒の中村武先輩の音頭で乾杯し、昭和59年卒近藤洋介氏(米沢市長)から『好循環の米沢 危機をチャンスに』について、昭和56年卒長岡明氏(米沢市立病院病院長)から『新米沢病院の現状と課題』についてスピーチがあり、米沢と置賜地域における少子化や医師不足の現状と今後の展望への熱のこもったお話をお聞きしました。全会員による近況スピーチも5年ぶりに復活して、コロナ禍の期間を超えて、懐かしく旧交を温めたり新しい交流を深めたり、楽しく有意義なひと時をご一緒に過ごすことができました。(支部長 小関 清夫 記)



◇東海同窓会

本年度同窓会は参加者14名、来賓3名で開催され、母校からは渡邊晃校長先生にお越しいただきました。同窓会員のほとんどが校長先生の年齢を超えてしまっている現状ですが、今年度は直接の教え子が参加することができました。思い出話に花が咲いているのを端から眺め、これぞ同窓会といった雰囲気はこちらも嬉しくなってしまう。やはり母校より先生がお越しくださるのは会として実に大きく、今年参加できなかった同窓会員へも広く報告し、次回への参加を促していくことが重要であると感じております。また、遠方のため、ご高齢のために参加が難しい方々へも元気にやっているぞとメール等を通じてアピールしていく所存であります。最後に皆様のご協力に感謝いたします。今年も精一杯生きて、次年度も元気な姿で再会いたしまししょう。(事務局 佐藤 義晃 記)



◇河北山東会



令和6年度の河北山東会は、河北町内の「紀の代寿司本店」にて11月9日(土)に開催いたしました。ご来賓に同窓会の高橋会長と母校の渡邊校長先生をお迎えし、祝辞では創立140周年記念事業の内容や部活動の活躍状況、探究科の活動状況などをお話しいただきました。その後の懇親会では、会員の近況や高校時代の思い出話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後に恒例となった「おお勝利」を合唱し、散会いたしました。(幹事 茨木 英匡 記)

令和6年度の河北山東会は、河北町内の「紀の代寿司本店」にて11月9日(土)に開催いたしました。ご来賓に同窓会の高橋会長と母校の渡邊校長先生をお迎えし、祝辞では創立140周年記念事業の内容や部活動の活躍状況、探究科の活動状況などをお話しいただきました。その後の懇親会では、会員の近況や高校時代の思い出話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後に恒例となった「おお勝利」を合唱し、散会いたしました。(幹事 茨木 英匡 記)

◇尾花沢支部

支部総会及び懇親会を昨年に引き続き11月2日(土)市内「寿司割烹とくら」にて開催しました。ご来賓に高橋一夫同窓会会長、矢野純嗣教頭先生、大石田支部から本間和夫様、布川元様、大類康裕様にご出席いただきました。総勢20名参加の総会に先立ち、4月15日にご逝去された第22回卒の故工藤正廣様に黙祷を捧げました。今年度も同窓生の高橋央さんが育てたお米で作った日本酒の差し入れがあり、みんなでいただきましたながら、楽しい時間となりました。教頭先生と高橋央さんが同級生ということもあり、二次会までお付き合いいただきながら、尾花沢から山形東高に通った思い出を語り合う貴重な時間となりました。(三坂 真治 記)



第68回体育部OB会総会

令和7年2月2日(日)、バレーボール部とフェンシング部が当番幹事となり、体育部OB会総会・懇親会が山形グランドホテルにおいて開催されました。功労賞受賞者、学校関係者、各部代表者など、約250名の方々の参加をいただき、盛大に開催することができました。



総会は、森谷寛会長(卓球部・山東17回卒)の挨拶の後、会長が座長となり、議事が進められました。今次総会においては、高橋邦芳新会長(フェンシング部・山東19回卒)をはじめとした役員改選の報告を含め、全議案が承認されました。

総会終了後、懇親会が開催されました。現役応援団による澁漑たる応援披露、出席者一同による格調高い校歌斉唱、森谷会長のご挨拶の後、渡邊校長先生へ強化費の贈呈が行われ、校長先生から現役生の活動についてご報告をいただきました。さらに、体育部OB会功労賞受賞者22名の方々の表彰が行われ、受賞者代表の大宮登先輩(バレー部・山東20回卒)に森谷会長より表彰状と記念品が贈呈されました。その後、フェンシング部OBの鈴木俊伸先輩(山東19回卒)のご発声で乾杯し、出席の皆さんは和やかに懇親を深め、最後はフェンシング部OBの鈴木達先輩(山東28回卒)の万歳三唱でお開きとなりました。末筆とはなりますが、永年にわたる本OB会に対する森谷会長のご指導に衷心より感謝申し上げます。(フェンシング部OB 渡邊 修 記)

第29回山東文化部OB会総会

令和6年7月19日(金)山形グランドホテルに於いて、第29回山東文化部OB会総会を開催いたしました。

文化部OB会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校文化部の健全な発展を育成するため支援を行い、母校の発展に寄与することを目的としており、近年活躍の場を広げている現役文化部山東生を応援しております。

総会は、菊地健太郎会長が議長となり、前年度事業及び決算報告、本年度事業計画と予算案が審議、可決承認されました。続く懇親会では、開会前に現役文化部山東生の活躍を上映しました。この動画は、各文化部より動画等にて活動状況を出していただき、それらを放送部の現役山東生が一連の動画にして作っていただいたものです。非常に出来栄の良い見事な動画となっており、心より感謝申し上げます。懇親会が開会し、校歌斉唱、菊地健太郎会長の挨拶の後、渡邊晃校長先生と高橋一夫同窓会会長よりご来賓の皆様を代表してご挨拶を頂戴し、森谷体育部OB会会長より乾杯の発声をいただきました。年々少しずつですが、新たな参加者も増え、懐かしさも感じながら、会員同士が和気藹々と懇親を深めました。

今年度より、ご参加叶わなかったOBの皆様から、現役文化部の活動へ寄付金も頂戴しております、お心遣いに感謝申し上げます。母校発展、文化部活躍のために頑張ってください。引き続きご参加ご支援いただきますようお願い申し上げます。(幹事長 安部 雄祐 記)

東の風

陸上競技から得た経験

前期・陸上競技部部長

荒井 昊大 (3年)

私たちは、中学生の時に新型コロナウイルス感染症で部活動の自粛を余儀なくされた世代です。その経験から部活動の大切さを学び、高校で部活動を楽しもうという気持ちで陸上競技部の活動を始めました。部では「一人でも多く上位大会に進出すること」を目標に練習に取り組みましたが、2年になり部長になった頃から調子が上がらず、自己ベストが更新できない日々が続きました。そんな時に大事にしたのは、初心にかえて部活動を楽しむ気持ちを思い出すことでした。仲間と一緒に辛い練習でも乗り越えられることを実感し、練習を重ねて最後の大会では自己ベストを更新し、有終の美を飾ることができました。令和6年には創部100周年記念事業で部室前の走路を整備していただきました。部員の仲間や顧問の先生方、陸上競技部の諸先輩や保護者の方々などの協力があったこそ、山東陸上競技部が成り立っているのだと感じました。山東陸上競技部への応援に感謝申し上げます。

走り続ける覚悟

後期・陸上競技部部長 吉富 一真 (2年)

陸上競技部では、県新人大会、東北新人大会の悔しさをばねに来シーズンに向けて、基礎技術や基礎体力を高めるトレーニングを中心に、仲間とともに真摯に冬季練習に励んできました。陸上競技は個人の力が試されるスポーツですが、仲間と切磋琢磨し、支え合いながらともに成長していくことが大切だと感じています。厳しい練習もこの仲間と乗り越え、最後まで諦めず頑張ります。そして、支えてくれる仲間や的確なアドバイスをくださる顧問の先生方への感謝の気持ちを忘れずに、最高のパフォーマンスを発揮できるように日々精進していきます。

陸上競技部の100年

先輩から後輩へバトン・たすきをつないで

山形東高等学校陸上競技部は、前身の山形中学校陸上競技部として大正12(1923)年に発足し、「文武両道」に励んだ歴代の現役部員の記録と記憶とが連綿と受け継がれて、令和5(2023)年に創部100周年の節目を迎え、令和6(2024)年に一連の記念事業を行いました。

陸上競技部は、学校では部室長屋の走路で練習しています。その場所(45m)は、陸上競技部OB会の支援により、平成3(1991)年2月7日～13日に冬季走路全天候化の改修工事が行われました。陸上競技部の活動の原点であるその走路は、先輩方の足跡でだいぶ摩耗していたので、創部100周年を機に、現役部員のための設備更新という気運が高まりました。そして、令和6(2024)年2月22日、新しい走路を陸上競技部OB会から母校に寄贈していただきました。あわせて部旗も5月に新調され、学校での練習環境の向上、意気軒昂を実感しています。7月には、100年史の『おゝ勝利』が発行されました。8月12日には、創部100周年記念祝賀会が、ホテルメトロポリタン山形にて、にぎやかに開催されました。

先輩方の御厚意と、現役部員の情熱と感謝の気持ちを合わせて伝統を継承し、山形東高等学校陸上競技部のつながりをより強固なものにしてまいります。今後とも後輩への応援や御指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



新しい部旗のもとに(県高校総体陸上村山予選にて)



新しい走路(2024年2月22日)

第75回卒業会名

とう せん かい
東 閃 会

「青天閃爍暉りを停どむる無し 男兒少壯にして樹立せず」

『憶昨詩』王安石

英才が集い電光の間も惜しみ勉学に励んだ日々で、私たちは師を手本として尊び、その身の輝きを増しとどめようとして教えをよく守ることに専心した。災禍から立ち直った世のすみずみまで生気を届けようとする大志を持つ学友たちと、私たちは一途な心を傾けてともに親しく学んだ。光の射す方角へと門出し、才能と努力で実らせた学びを用いてこれからの世の仲立ちとなることを誓って、ここに「東閃会」と命名する。



「東閃会」同窓会クラス評議員

令和7年度

ホームカミングデー 「30歳になったら東高に帰ろう」



◆令和6年度ホームカミングデーに参加して

山東62回栄継会 伊藤 佑一郎

む さ し かい
六三志会(平成25年卒業・山東63回)のみなさんへ

30歳という時に立った今 母校に帰って
恩師や仲間と楽しい再会のひと時を過ごしてみませんか
みなさんの参加をお待ちしています

- ◆ 日 時：令和7年8月30日(土)
山東祭の一般公開日/午後3時より
- ◆ 会 場：山東会館食堂
- ◆ 内 容：若手学年支援費の贈呈・近況報告・懇談
- ◆ 申 込：8月16日(土)まで同窓会事務局へ

栄継会と恩師の皆様方にご参加いただき、非常に盛況な集いとなりました。12年の歳月を経ての再会ということもあり、高校時代の思い出や近況を語り合ううちにあっという間に時間が過ぎていきました。懐かしい人達に再会できるこの機会にぜひ母校へと足を運んでみてはいかがでしょうか。ホームカミングデーを開催していただいた事務局の皆様、ご参加いただいたきました恩師の皆様方、誠にありがとうございました。

知音ふあいる

若手会員のプロフィール紹介

後藤 彩花(平成24年卒業・栄継会)

医師として、人間として

2024年ホームカミングデーに参加いたしました。それぞれの道を歩む同級生と、懐かしい話や今の話をビール片手に語り合う、素敵な会でした。少し歳をとった校舎で、きらきらの高校生たちが文化祭の片づけをしている様子は感慨深いものがありました。毎年企画に携わってくださっている先生方ありがとうございます。

私は今、医師として山形で働いています。山形大学医学部を卒業後、2年の初期研修と4年の後期研修を経て、今後は乳腺領域を専攻していきます。海外への憧れもあり国境なき医師団を目指して医学部入学を決めましたが、手の届かない現実にも衝突し、山形人30年のベテランにもなりつつ、家族の乳癌をきっかけに乳腺外科医になっているとは。少し先の未来もどうなるかわからないものです。

乳癌検診を広めるべくピンクリボン運動というものがあります。まだまだ学ぶことしかない身分の私ですが、その活動にも参加しており、本年の講演では乳癌罹患率の高さや早期発見での治療率の高さ等を話しました。山形県内の乳腺外科医師は患者数に対し非常に不足しており、女性という立場も活かしながら患者さんに必要とされる医師でありたいと思っています。

綺麗ごとは述べられますが、振り返ると様々な葛藤もありました。社会人になり、周囲が結婚出産していく中で自分は当直室で死ぬのではと不安を感じる程の生活(身体はそう簡単には壊れませんでした笑)、人それぞれとわかってはいても、他人と比較することも未だにあります。同時に自分のやりたいこと生き方に自信を持てるのか、自身と向き合う機会も増え、大切にすべき友人や同僚も明確になりつつあります。また山形で働いているからこそその人の繋がりや優しさも実感できています。ホームカミングデーで、頑張っている皆からの刺激も受け、今後も山形の乳腺診療に貢献していく所存です。





お梅やみ

同窓会報76号掲載以降～令和7年3月31日までに判明した方々です 謹んでご冥福をお祈りいたします

令和3年

- 10月3日 赤岸晋一郎 様 (山東8回)
11月7日 木村(渡辺)信三様 (山東14回)

令和4年

- 1月5日 木村(木村)まさ子様 (山東1回西)
3月9日 工藤 欣一 様 (山中57回)
7月1日 高橋日出夫 様 (山東10回)
6月27日 塚田 元晴 様 (山東1回)
6月30日 猪倉 治 様 (山東17回)
9月18日 水戸部俊治 様 (山東6回)
10月27日 阿部 勇行 様 (山東6回)
12月5日 佐野(池垣)トキ様 (山東3回西)
12月18日 枝松 和雄 様 (山東6回)

令和5年

- 2月17日 高橋(梅本)謙二様 (山東11回)
3月17日 小出 泰男 様 (山中54回)
4月8日 高橋 豊 様 (山東12回)
4月14日 熊沢元三郎 様 (山中61回)
5月11日 秋葉 知也 様 (山東2回)
5月12日 山本 敏行 様 (山東3回)
5月27日 阿部(阿部)智様 (山東2回西)
6月10日 阿部 二郎 様 (山中58回)
6月14日 大沼 輝彦 様 (山東32回)
7月8日 浦山 忠 様 (山東10回)
7月12日 小林 伸也 様 (旧職員)
7月26日 佐藤 良治 様 (山東25回)
8月7日 遠藤太美雄 様 (山中58回)
9月9日 戸田 忠 様 (山中62回)
9月27日 長山 勲 様 (山東3回)
10月6日 池田 滋 様 (山東9回)
10月6日 津藤 正信 様 (山東12回)
10月7日 横澤 正彦 様 (山東7回)
10月9日 沼沢(伊藤)和子様 (山東10回)
11月19日 田中 芳熙 様 (山東13回)
11月23日 渡辺 修 様 (山東8回)
11月25日 内野 正 様 (山東5回)
12月14日 斎藤(山口)昭夫様 (山東2回)
12月21日 山口 淳二 様 (山東42回)
12月27日 太田 勇夫 様 (旧職員)

令和6年

- 1月4日 木村 浩征 様 (山東2回)
1月6日 田中 稔 様 (山東4回)
1月25日 大原 栄一 様 (山東1回)
2月1日 滑川(佐藤)幸子様 (山東2回西)
2月4日 須藤 周一 様 (山中51回)
2月6日 佐藤 完治 様 (山東1回)
2月6日 鈴木 康 様 (山東12回)
2月14日 山本 浩之 様 (山東39回)
2月20日 三崎 大 様 (山東32回)
2月28日 揚妻 靖 様 (山東8回)

- 2月29日 武田 良夫 様 (山東3回)
3月5日 吉原(早坂)美津代様 (山東2回西)
3月5日 佐久間順雄 様 (山東24回)
4月1日 田口(浅野)由紀子様 (山東9回)
4月3日 鈴木 健一 様 (山東27回)
4月9日 高木 仁雄 様 (併中1回)
4月15日 本島 英治 様 (山東8回)
4月15日 後藤 治憲 様 (山東14回)
4月15日 横澤 裕一 様 (山東17回)
4月15日 工藤 正廣 様 (山東23回)
4月21日 橋本 毅 様 (山東7回)
4月21日 小野 邦彦 様 (山東13回)
4月26日 小関 恭二 様 (山東8回)
4月27日 阿部 欽一 様 (山東5回)
5月4日 松田 朝男 様 (山東19回)
5月6日 佐竹 由行 様 (山東20回)
5月8日 向井 文夫 様 (山東4回)
5月15日 星野 宣郎 様 (山東8回)
5月18日 岡崎 信行 様 (山東12回)
6月4日 内田 淳 様 (山東3回)
6月6日 五十嵐和昌 様 (山東27回)
6月11日 大築 賢一 様 (山中55回)
6月14日 佐々木 亮 様 (旧職員)
6月15日 堀 是治 様 (山東10回)
6月16日 豊島 圭吾 様 (旧職員)
6月16日 神保 実 様 (併中2回)
6月18日 岡崎 昭彦 様 (山東5回)
6月22日 斎藤 俊尚 様 (山東2回)
6月22日 黒沼 徹 様 (山東8回)
7月10日 沼部 健一 様 (山東8回)
7月12日 芦野 浩二 様 (旧職員)
7月14日 武田(武田)美江子様 (山東2回西)
7月14日 佐藤 衷一 様 (山東6回)
7月15日 笹原 裕一 様 (山東22回・米沢副支部長)
7月30日 井上(鈴木)博子様 (山東1回西)
7月30日 長谷川幸夫 様 (山東10回)
8月7日 山口(山口)幸子様 (山東1回西)
8月10日 岩田 実 様 (山東18回)
8月26日 真田 宗厚 様 (山東7回・評議員)
8月30日 佐藤 寿一 様 (山東7回)
8月31日 千葉 啓一 様 (山東25回)
9月9日 鈴木 寿人 様 (山東26回)
9月15日 神尾(斎藤)フジ様 (山東1回西)
9月15日 高山(伊藤)和子様 (山東2回西)
9月18日 後藤 祐一 様 (山東1回)
9月23日 東海林(青柳)則様 (山東2回西)
9月24日 椎名 寿昭 様 (山東7回)
9月25日 遠藤(宇野)マキ子様 (山東3回西)
9月30日 柘植 更一 様 (山東3回)
10月6日 藤木 彦市 様 (山東3回)
10月12日 清野 和彦 様 (山東13回)
10月20日 安藤(土井)恭子様 (山東3回西・旧職員)
10月20日 大場 新七 様 (山東19回・旧職員)
10月21日 岡崎 恒男 様 (一高2回)

- 10月24日 鈴木(堀)英夫様 (山東7回)
10月24日 岡田 知文 様 (山東9回)
10月29日 荒井 齊 様 (山東2回)
10月30日 柴田(小久江)美和子様 (山東5回)
11月1日 森谷あき子 様 (旧職員)
11月5日 清野 章次 様 (山東1回)
11月9日 渡邊 暢 様 (山東4回)
11月12日 木村 久男 様 (山東3回)
11月13日 神林 昌良 様 (山中61回)
11月16日 宮城 信美 様 (山東3回)
11月17日 高嶋 清也 様 (山東6回)
11月19日 志鎌 聰 様 (一高2回)
11月27日 高橋(岡崎)房子様 (山東1回西)
11月27日 黒木 武彦 様 (山東4回)
11月28日 大沼 清美 様 (山東1回)
12月1日 菅野 宏昭 様 (山東13回)
12月3日 庄司(高木)由太郎様 (山東10回)
12月7日 齊藤(佐島)明人様 (山東7回)
12月9日 佐藤 章夫 様 (山東10回)
12月10日 浦山 廣 様 (山東1回)
12月11日 浅野 俊彦 様 (山東6回)
12月20日 黒沼(岡崎)弘子様 (山東4回西)
12月23日 矢作(庄司)マサ子様 (山東1回西)
12月24日 武田 豊 様 (山東25回)
12月25日 米本 満 様 (山東5回)
12月26日 荒井 秀和 様 (山中59回④)
12月29日 佐藤 六郎 様 (山東7回)
12月30日 伊藤 齊 様 (山東15回)

令和7年

- 1月2日 武田 裕保 様 (山東15回)
1月7日 柿崎喜世樹 様 (山東18回)
1月9日 杉 士朗 様 (山東8回)
1月14日 丹野 和子 様 (山東3回西)
1月19日 工藤 行夫 様 (山東17回)
1月21日 渡邊 宏一 様 (山東10回)
1月22日 斎藤 謙 様 (山中60回)
1月23日 阿部 謙弥 様 (山中58回)
1月31日 丹野 英也 様 (山東15回)
2月1日 青山 幸正 様 (山東20回)
2月12日 向田(向田)直子様 (山東4回西)
2月17日 泉 義彦 様 (一高2回)
2月18日 今野 澄 様 (山東6回)
2月19日 會田(滑川)アヤ様 (山東1回西)
2月24日 松田 義信 様 (山東4回)
2月24日 深瀬 昌三 様 (山中61回)
2月27日 工藤(中川)芳保様 (山東5回)
3月5日 鈴木 範大 様 (山東6回)
3月8日 伊藤 正 様 (山東22回)
3月14日 渡辺(笹原)美枝様 (山東2回西)
3月14日 高橋 隆男 様 (山東3回)
3月18日 永田 秀昭 様 (山東19回)
3月21日 竹俣(佐藤)美恵子様 (山東4回西)
3月26日 佐藤 守 様 (山東7回)
3月28日 菅 良伸 様 (山東18回)

山東奨学会

令和6年

- 5月14日 第27回理事会
令和5年度事業報告
決算の承認
次期理事候補者の選任
評議員会の開催
6月5日 第11回評議員会
令和5年度事業報告
決算の承認
理事の選任
6月11日 第28回理事会
理事長・常務理事の選定

令和7年

- 2月14日 第29回理事会
令和6年度事業経過報告
補正予算の承認
令和7年度事業計画
予算の承認
3月17日 奨学生審査会
3月28日 奨学金贈呈式
3名に贈呈

慶 祝

令和5年

- 10月26日
学校保健文部科学大臣表彰
原 健一 様 (山東16回)

令和6年

- 4月1日
瑞宝双光章 栗原 広志 様 (山東4回)
瑞宝小綬章 黒木 武彦 様 (山東4回)
4月29日
旭日中綬章 遠藤 直幸 様 (山東16回)
瑞宝中綬章 細谷 知行 様 (山東18回)
飯野 正光 様 (山東20回)
会田 稔夫 様 (山東22回)
瑞宝小綬章 本間 章夫 様 (山東16回)
瑞宝双光章 本間 章夫 様 (山東16回)

11月1日

- 瑞宝双光章 榎本 彰夫 様 (山東5回)

11月3日

- 旭日小綬章 浜田 敏 様 (山東17回)
鈴木 隆一 様 (山東23回)
瑞宝小綬章 佐々木孝之 様 (山東22回)

令和7年

- 1月1日
瑞宝双光章 佐藤 利雄 様 (山東5回)
3月1日
瑞宝双光章 武田(安孫子)勉 様 (山東5回)

篤志寄付

令和6年

- 6月20日 図書購入費 10万円
探究活動支援費 10万円
山形市役所東高会
8月23日 創立140周年記念事業へ寄附 2万円
蒲原 良治 様 (山東14回)
9月11日 結城豊太郎記念館表門修復事業へ寄附 20万円
山形東高同窓会
9月27日 教育後援会へ寄附 100万円
日東食品教育振興基金

令和7年

- 2月14日 教育後援会へ寄附 110万円
山形東高同窓会
2月19日 教育奨励費 20万円
(内訳)
文化部・運動部奨励費10万円
図書購入費5万円
奨学会基金5万円
山形県庁東高会
2月21日 教育後援会へ寄附 100万円
奥田教育財団

職員動向

母校に係る令和6年度末の人事異動をご報告します

〈転出者〉(敬称略)

伊藤 正弘(事務部長・3年) 知事部局へ
矢野 純嗣(教頭・2年) 県立博物館へ
黒沼 直洋(教頭・1年) 教育局高校教育課へ
澁谷 恭亮(数学・2年) ご退職・他県へ
井上 朋子(国語・16年) 山形北高校へ
高橋 明子(理科・10年) 寒河江高校へ
仁藤 誠(保健体育・6年) 村山産業高校へ
木村 元昭(数学・5年) 山形南高校へ

大江 梯(地理歴史・5年) 山形南高校へ
寺澤 裕子(国語・3年) 谷地高校へ
永瀬 貴紘(数学・3年) 東桜学園高校へ
黒瀬 純子(生徒総論・9年) 山形北高校へ
安達 中子(事務部長・1年) 企業局へ

〈転入者〉(敬称略)

鈴木 秋生(事務部長) 山形南高校より
高橋 丈士(教頭) 教育局高校教育課より
結城 正克(教頭) 県警察本部人身安全少年課より
加藤 千恵(国語) 上山明新館高校より

佐藤 邦宏(国語) 寒河江高校より
大沼 泰史(地理歴史) 谷地高校より
海鋒 信(数学) 山形南高校より
戸田 良康(数学) 村山産業高校より
石澤 良子(理科) 上山明新館高校より
伊藤 和哉(保健体育) 山形南高校より
齋藤 貴玖人(保健体育) 新採(本校講師より)
佐藤 陽一(保健体育) 寒河江工業高校より
安達 紘江(生徒総論) 山形中央高校より
菅井 浩二(シニア顧問) 山辺高校より

令和7年度 同窓会役員

役員表: 会長 鈴木俊伸, 副会長 高橋修均, 幹事長 高橋勝幸, 副幹事長 永井聡子, 幹事 清野寿啓, 顧問 田敏, 相談役 高橋邦芳

評議員表: 山中55回 昭南会 設楽 隆, 山中58回(4) 銀河会 西村 久男, 山中59・60回 太平会 佐藤 良助

同窓会表: 山東38回 東龍会 小嶋 寛之, 山東39回 魁成会 鈴木 清晃, 山東40回 東駿会 高橋 祐史

地域・職域同窓会

同窓会名 会長・支部長: 山形東高同窓会 鈴木 達, 山形東高仙台同窓会 田苗 博

事務局: 東京都千代田区平河町2-6-3 山形県東京事務所内, 仙台市青葉区本町1-7-1 東北電力(株)内

事務局長: 枝松 広朗 ☎03-5212-9026, 市川 秀徳 ☎022-225-2111

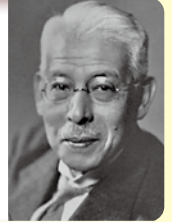
三浦新七博士の生涯と業績 (4)

～学問は学問のための学問であってはならぬ 何のための学問か考えよ～

1935(昭和10)年10月、三浦は、助教授の論文問題で紛糾の極みにあった母校東京商科大学の事態収拾を要請され、両羽銀行頭取を長谷川吉三郎(現山形銀行会長長谷川吉茂氏祖父)に託し学長に就任した。兼松講堂での学長就任式の挨拶で全教員、全学生、卒業生を前に壇上から「学界を半ば引退して約10年にも相成る私が、ここに白髪の老躯を捧げて学長の要職につかねばならぬようになったことは、本学のために最も悲しむべきことである」と述べるとともに、積年の思いを込めて大学の使命を説いた。

「明治維新以来、西洋文化が決河の勢いで流入し、我々日本人は政治、経済、文学、美術、宗教のすべてにおいて手当たり次第に取り入れた。しかし、本来外国の制度や文化をその精神を含めて移入することは不可能であり、第一次世界大戦後日本の国力が高まり、国民としての自信が強まるにつれて、そのことが明白に意識されてきた。勢い欧米文化は物質文化であると軽蔑し排斥する風潮が高まってきた。英米仏主導の世界体制から脱皮、『自主的外交、自主的経済を確立せよ』との標語と共に、皇道を尊び、日本精神を昂揚する国家主義が台頭してきたのが一つの表われである。それが今日の我が国の現状であり思想界の大勢である。いたずらに大言壮語して、一時の興奮に安価な自己満足を思う軽薄な態度であってはならぬ。どこまでも慎重な態度で、外は広く世界の主要な国民の文化を研究し、その中で日本文化の特色を見出して、ひとつの特殊文化として世界文化の中で押しも押されぬ地位を保持することができるかどうか、今まさに大切な時期である。しかし、日本文化の新たな建設、土台を築き上げるには長い年月を要するのだ。我々一生の努力をもってしても、あるいはできないかもしれない。そこに個人を超越して長い生命を持った大学の使命が存在する。大学の使命をまっとうするには、学徒たる自覚を持たなければならない。学者の間に学問のやり方、研究の結果について見解を異にすることが起きるのはやむを得ない。ただし、互いの立場を尊重する、理解し合うという寛容な態度を持って、いわゆる君子の争いをなすべきである。この余裕を持って初めて我々がひとつの方向に流れることが実現する。『学んで思わざれば則ち罔(くら)し、思うて学ばざれば則ち殆(あや)うし』で、学んだことを体験してみる、心からそれで安心できるかを吟味してみて学問を自分のものにする心掛けが緊要である。大学は学ぶところであると共に人格形成の道場である。もちろんこの修業は在学中の短い年月の間にはできないことではない。卒業後いかなる職業に就くかにかかわ

三浦新七(1877-1947) 文明史家・経済人。東京商科大学(現一橋大学)学長。山形中学、東京高等商業学校卒業。ドイツに留学して比較文明史を研究し母校教授に。昭和金融恐慌に際して帰郷し両羽銀行(現山形銀行)頭取。貴族院議員。日銀参与。山東高同窓会第2代会長。遺稿集に『東西文明史論考』



らず一生の修業である。学園はその修業の稽古場であるとの心得を持って努力することを希望する」。

大学本来のあるべき姿を切々と訴える気迫に講堂は静まり返った。世間を騒がせた事件は解決に向かい、三浦は「自分はただの火消し役だよ」の言葉通り学究の徒に戻った。名誉教授の称号を授与されて本科では文明史の講座をもち、シナ古代文化を講義した。それとは別に講義のあった日の夜、本郷の東大赤門前の常宿大津旅館で読書会を開き学生たちを指導した。講義について、各人の研究テーマについて、古今東西の書籍について、新聞記事について、果ては身の雑事に至るまでそのすべてに答えた。ことに学問にかかわることとなると熱中し、仕立て上がりの大島紬に葉巻の灰を落とすことを忘れるほどであった。学園の危機を救った三浦に学生たちは感謝と畏敬の念を込めて胸像を建立した。後に文化功労者となる清水多嘉示が制作した胸像は現在、一橋大学の図書館に日本資本主義の父渋沢栄一と並んで存置されている。

昭和12年2月、結城豊太郎が大蔵大臣に就任する。盟友の快挙に三浦は「大蔵大臣に御就任、謹しみて敬意を表す、御健闘を祈り居り」と祝意を寄せた。だが、その年の7月、北京郊外の盧溝橋付近で日中両軍が衝突、やがて日本は破滅の道をたどり始める。

山形商工会議所 花谷 賢一(四六会)



東京商科大学での学長就任演説

編集後記

伝統の継承と新しい風と。創立140周年記念事業を通して、「山東とは」を考え続けた1年でした。山東140年の歴史の中で学業という本流に探究という新しい風が吹くようになり7年。次の10年でまた母校がどう進化していくのか、私たちもより一層の向学心と探究心を持って生徒とともに歩んでいきたいと思えます。

高橋 明子(東玲会) 奥山 玲香(結昇会)